

# Go Go リハビリ!

今回のテーマは...

地域包括ケア病棟での

リハビリテーション  
リハビリレスパイト  
の紹介

メディカルリハビリテーション課

新生病院 広報誌 Vol.6 (2021.11月発行号)



## 地域包括ケア病棟ってなに?

急性期病院での治療後や、一時的に在宅や施設での療養が難しくなった方に対し、積極的に入院の受け入れを行っています。治療やリハビリを行い、退院後に安心して自宅や施設で暮らせるように支援します。

メディカル  
リハビリテーション課  
課長 上原玄大

### 対象者

- ・脱水や食欲不振
- ・誤嚥性肺炎などの嚥下障害
- ・圧迫骨折などの整形外科疾患
- ・脳血管などの脳血管疾患
- ・ボトックス治療
- ・レスパイト

など

### 地域包括ケア病棟の役割



## リハビリの内容をご紹介します

### 個別リハビリ

様々な疾患に対応できるように、幅広い知識と技術でリハビリを提供しています。その人に合わせた手足の運動、筋力トレーニング、動作練習を行い、能力の維持・向上を図っています。



### 摂食嚥下リハビリ

飲みこみの検査や訓練を行います。また、食事内容や姿勢、栄養状態を看護師、栄養士と相談して、口から食べられるようにサポートしています。



### 集団リハビリ

体操やレクリエーションを行います。皆で楽しく取り組むことで、自然と体力作りができ、かつ、認知症予防にも効果があります。



### 生活動作に関するリハビリ

食事やトイレ、移動など日常生活の実際の場面にリハビリスタッフが関わります。自宅でも安全に動作が行えるように練習を行います。



# 「ときどき入院、ほぼ在宅」

入院前より、元気になってご自宅へ

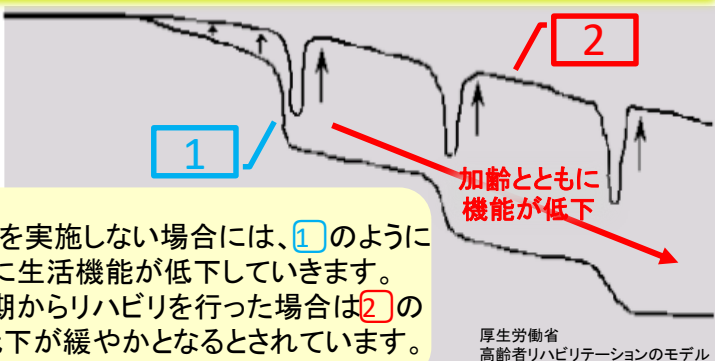
## リハビリレスパイトって何？



食事が進まなくなったり、動きが悪くなってきた方に短期入院で機能の評価やリハビリを行い、在宅生活が長く継続できるように支援を行っています。  
また、ご家族の都合により自宅での介護が困難となった場合にもお受け入れを行っています。  
そういった支援を当院では「リハビリレスパイト」と呼んでいます。

加齢、活動性の低下などで、生活機能は低下していきます

生活機能



リハビリを実施しない場合には、①のように段階的に生活機能が低下していきます。早い時期からリハビリを行った場合は②のように低下が緩やかとなるとされています。

## ご本人の事情

- 身体機能の低下  
(一人で起きられなくなった、歩けなくなった、転倒しやすくなった、トイレが一人でできない など)
- 摂食・嚥下機能の低下  
(食事が進まなくなった、ムせる など)
- 認知機能の著しい低下  
など

積極的なリハビリ介入を行っています



ご自宅での生活をより長く継続するための

予定の入院

困ったとき、もしものときの

緊急時の入院

## ご家族の事情

- 急な用事  
(近親者のご不幸や遠方への外出)
  - 介護力の低下  
(介護者の体調不良や怪我)
- など

お気軽にご相談ください

地域連携室 Tel026-247-2106

肩回り固くなっていませんか？私をご紹介します

## ストレッチ

①と②を交互に3回ずつ行ってください

1

両手を後ろで組んで肩甲骨をしっかりと後ろで寄せ合せて3秒間保持

ポイント

胸を張るように意識して下さい

2

両手を前で組んで腕をしっかりと前に引き出し3秒保持

ポイント

背中を丸めながら肩甲骨を外に開くように意識しましょう



痛みやしびれを感じたらストレッチを中止してください